

# りんごだより

草笛学園 2023年 12月号



12月に入り朝晩がずいぶん寒くなってきていますね。風邪などひかないように、あたたかい服を着たり、温かい食べ物を食べたりしながら寒さ対策をしてください。紅葉も美しく、赤や黄色になった葉っぱを見つけたり、どんぐりや松ぼっくりを拾ったりすることもできます。落ち葉の上をカサカサ音を立てて散歩することも楽しいですね。太陽のもとで元気に過ごすとともに、深まる秋を親子で楽しんでください！！

**4～5歳 確かな知識や技能が生まれる**  
～ふりかえりはじめる4歳児～

## 繊細な心の時代

4～5歳児は、ふりかえる力がまだ育ち始めたばかり。点検しようとするけれど、どこに注目すればよいのかまだ十分にわからないために、途方に暮れてしまうことが日常的にあります。折り紙を折っているとき、先生に「あ、〇〇ちゃん、そこがうよ！」と言われただけで、手にしていた折り紙を背中に隠してしまう。「見せてごらん」と言われて見せることができず、そんな自分を「ダメな自分」と感じて自己発揮できなくなってしまふ。ふりかえる心が芽生えているけど、どう判断したらよいかわからないという矛盾が、4～5歳の繊細なゆれる心を作りだします。

いろいろな活動への参加を拒否する姿もふえてきます。今までであれば、折り紙を自分で折って「デキタ（ほめて!）」と親や保育者に見せにきました。4歳中ごろからは様子が違ってきます。自分で折ろうとせず、「やって」とおとなに求めてきます。

「上手に折れるようになったじゃない。自分でやってごらん」と説得しても「できないもん」と拒否します。「自分で折ると上手にできない。だから先生にやってもらいたい。自分で折って、下手だとはずかしい」という気持ちがわくためです。しかたなく大人が折ってあげると、「ありがとう」とお礼を言いますが、それほど嬉しそうではなく、少したつと折り紙を置いてどこかにあそびにいてしまいます。うれしくないのは、自分で折ったのではないから。「やってほしい、だけど、じぶんでやりたい4歳児」です。

4歳児クラスの子どもに対しては、大人のサポートが必要です。サポートというのは、全部大人がやってしまうのではなく、全部子どもにやらせるのではなく、部分的に手伝ったりヒントを提供したりしながら、結果的には子どもが「自分でやった」と感じられるように支えることです。「ここを持っていてあげるから折ってごらん」とおとながサポートを入れ、「そうしてもらえれば、自分で上手にできるかもしれない」と子ども自身が感じたときに、意欲が爆発します。「自分でやった!」という実績が何よりうれしい4～5歳児なのでから。

はじめての子育て 育ちのきほん 0歳から6歳/神田英雄 著

## 次回のりんご教室は…

りんご教室①は1月はありません。次回は2月6日です。

りんご教室②（1月16日）9時20分～11時15分

どちらの日も『ふるーつばすけっと』をします

※持ってくるもの：水筒、シューズ、必要に応じて着替え

※動きやすい服装で来てください

## 『参加される皆様へ』 ～ご協力をお願いします～

- お休みをされる場合は、学園までご連絡下さい
- 参加費は無料です。（おたよりはホームページに記載され、通信費が必要ないため）制作やクッキングの活動の時には、材料費として100円いただきます。その都度連絡します
- 草笛学園遊戯室での活動となります ・靴は下駄箱に入れて下さい
- 水分補給のため、お茶を用意して下さい（ジュース類は控えて下さい）
- きょうだい児の参加はご遠慮下さい。預け先がない場合は事前にご相談下さい
- トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切って下さい

## 【感染症対策について】（※国の方針に準じて対策を見直しています）

- 参加者や職員共にマスクの着用は自由とします。但し、クッキングの際やその時々での感染状況をみて着用をお願いする場合があります
- 原則大人1名・子ども1名の参加をお願いしてきましたが、今後はその限りとはしません。但し、グループによっては参加者が多い場合がありますので、担当職員にご相談下さい
- 入室前の検温・申告は不要ですが、朝の検温等、引き続き体調管理をお願いいたします 37.5度以上の発熱がある場合は参加をお控え下さい
- 園内の換気や消毒は引き続き継続します